

●しながわCSR企業連絡会とは・・・

品川区に事業所を有する企業や団体等の社会貢献活動が円滑に行なわれるように、各種の調整や情報交換を行うことを目的とし平成19年に発足しました。事務局を品川区社会福祉協議会に置いています。

●第23回しながわCSR企業連絡会

平成30年11月12日に、品川区社会福祉協議会会議室で開催しました。概要をご案内します。

- 1 開会あいさつ:品川区社会福祉協議会 事務局長 木下 徹
- 2 参加者自己紹介
- 3 講義

①「発達障害、不登校、ひきこもり、…子ども・若者の多様なニーズに応える行動」

講師:NPO法人教育サポートセンター NIRE 代表 中塚史行 氏

★NPO法人 パルレの活動について

- ・個別学習支援、農業体験、夏のキャンプを主な活動とし、障がいを抱えた当事者(主に、児童)への支援を展開している。
- ・近年の社会問題(貧困など)に相まって、子ども若者応援フリースペースを区・他団体と連携し開始した。
- ・家族をも巻き込み、教育・生活相談を通して、子どもを取り巻く大人に対しても支援を行っていく門戸が開けている。

～発達障害とは～

生まれつきの脳機能の発達のかたよりによる障害のことを言います。得意・不得意のバラつきと、その人が過ごす環境や周囲の人とのかかわりの不一致から、社会生活に困難が生じます。発達障害は外見からは分かりずらく、その症状や困りごとは人によって様々です。

その為、発達障害の特性を「自分勝手」「わがまま」「困った子」などと捉えられ、「怠けている」「親の育て方が悪い」などと批判されることも少なくありません。

しかし、バラつきの困難さは、環境を調整し、特性に合わせた方法で関わり教育していくことで、軽減されると言われています。お子さま(や若者)と、周囲の方々がその子の個性・能力・希望など理解した上で、その子に合ったサポートをしていくことが大切です。

国内でも、認知され始めてきた名称が、①ASD(自閉症スペクトラム)、②ADHD(注意欠陥・多動性障害)、③LD(学習障害)が挙げられます。

～発達障害の原因とは～

障害や個々のケースによっても異なりますが、現在、先天的な脳の機能障害による発達や認知の偏りという説が有力で、はっきりと原因はわかっていません。また、脳の機能障害を引き起こすメカニズムや原因も、まだ研究段階であるようです。一方で、かつて言われていた「親のしつけ方・育て方が悪い」「親の愛情不足」といった論は、現在では医学的に否定されています。

遺伝的な要因が指摘されていますが、必ずしも親から子へと直接的に遺伝するものではなく、複数の遺伝要因や環境要因などが複雑に影響して現れると考えられます。また、現時点では、すべての人に当てはまる原因の解明は難しいと言われています。

以上のことから、ご本人や家族にとっては「なぜ発達障害になったのか」と原因を追及することよりも、今その子が「何に困っているか」、「その子に合った対処法や環境は何か」を考えることから、始めると良いと思います。

②「品川区内の子ども食堂へ向けた企業の支援活動」

講師:しながわ子ども食堂ネットワーク事務局 西宮 令子

★～子ども食堂とは～

安価もしくは無料で食事を摂ることができ、地域の子どもの見守りをしながら「孤食」の解決を図り、子どもと大人たちの繋がりや地域のコミュニティの連携を促進させるべく、篤志家たちが2012年より全国各地に立ち上げた。各地域によって、活動内容も大きく異なり様々な社会ニーズに対応するべく、特色を発揮している。現在全国に2200か所以上、品川区内では17か所展開している。

★～子ども食堂の現状と課題～

厚生労働省が2009年に発表した、世帯所得が標準的所得の半分以下の割合(相対的貧困率)より、「見えない貧困」が明らかとなった。ここ数年で爆発的に全国的に増加した一方で、食堂を安定的に運営していく継続性の担保と、貧困という負のイメージが強くなってしまったことが挙げられる。これらを少しでも前向きな方向へ導くためには、運営などにかかわる人財の確保、企業などからの継続した物資の支援、併せて資金的援助が、求められていく。

4 情報交換および各企業・団体の取り組み報告

- ①フードドライブを毎年時期を決めて実施している。
- ②中小企業であるため、ボランティアやCSR活動は難しい。しかし、「何かやりたい」と思っている人はいる。
- ③使用済み切手を寄付している。
- ④居木神社への支援をしている。
- ⑤座席譲りを広める会をしている。
- ⑥中学2年生を対象とした、職業体験を10校ほど行なっている。
- ⑦区主催のCSR会議に出席し、障害者雇用を行なってきた。また、日常的に読み聞かせを行なっている。
- ⑧子育てメッセを開催している。また、マタニティハラスメントに対処するべく、マタニティの方を応援するマークを作った。
- ⑨組織運営を円滑にするべく、集客をしたい。そのアイデアを企業から頂戴したい。
- ⑩発達障害・知的障害を抱える方の支援を海外で行なっている。東北へ被災地支援をも行なっている。



参加団体および企業さま(順不同)

【団体】 AAR Japan(NPO法人難民を助ける会)、NPO法人教育サポートセンターNIRE
NPO法人しながわチャイルドライン、NPO法人ふれあいの家～おばちゃんち

【企業】 愛知産業株式会社、株式会社ケーブルテレビ、かんべ土地建物株式会社、三英電業株式会社
東京商工会議所品川支部、東芝エレベータ株式会社、ネットワンシステムズ株式会社、株式会社学研ホールディングス